

令和6年度 学校の授業等で活用できる「親学習」研修会

令和6年8月1日(木曜日)14:30~16:30

大阪府の親学習教材『親』をまなぶ・『親』をつたえる」を使用したワークショップを体験し、その活用方法等について考えることにより、学校での「親学習」の充実を図り、児童生徒及び保護者が「親と子の関わり」等を学習できるようにするため、先生方や親学習リーダーを対象に学校の授業等で活用できる「親学習」研修会を実施しました。

1. 日程/場所 令和6年8月1日(木曜日) /大阪府教育センター
2. 参加者 41名(小・中・高校・支援学校の先生方、親学習リーダー等)
3. 内容

(1) 大阪府より「親学習について」

地域教育振興課より、「親学習」の内容や必要性、学校現場での実践等について説明しました。

(2) ワークショップ「教材を活用した授業展開について」

昨年度作成した新親学習教材「うちではどうする」のエピソードをもとに、親学習を体験し、実践方法等について学びました。

1. 【ワークショップ(説明)】

親学習の「4つのルール(①時間②守秘③参加④尊重)」を学んだあと、ワークについての説明を行いました。

2. 【ワークショップ(体験)】

ワークでは、2つのワークを同時進行で行いました。

ワーク①:参加者の皆さんに、「懇談会に参加している、10歳の子どもを持つ親」になりきっていただき、親学習教材「うちではどうする」を体験していただきました。

ワーク②:参加者の皆さんに、「教員の立場」として、親学習を進める際のポイントを考えていただきました。

(3) 参加者の感想

- ・この研修は、学校の教職員全員で受講したかった！！
- ・教材の作り込みが丁寧で、最小限の準備で取組めそうです！
- ・教員経験や子どもがいる、いないなどの条件を問わず実施できそうです！
- ・実際に子どもが小学4年生の頃を思い出し、考えることができました。
- ・他の人の意見を聞くことで、「なるほど」と思えることが多かったです。ルールの「尊重」があったことで、自分の思いを安心して話せました。
- ・様々な考えを聞くことで、自分がこれからどうしていこうかという選択肢の幅が広がったように感じました。
- ・最初は、子どもが私にはいないため、「子どもの立場」でしか想像できなかったのですが、親学習を通して、「もし、自分が保護者だったら」と、保護者の視点にたって自分の考えをまとめることができたことに驚きました。



(4) 編集後記

参加者のみなさんの協力により、ワークでは様々な意見を出し合っていたいただき、時に笑いもありながら、和やかな雰囲気で行うことができました。ありがとうございました。

研修後には、「学校で早速親学習に取り組もうと思います！」などのうれしいお声もいただきました。

これから、参加者の皆さんの学校等で、子どもたちと、また保護者の方々と親学習を実施していただけると嬉しいです！